

行事の目白押しだった秋もそろそろ終盤です。ご参加の皆さま、お疲れさまでした。東北の紅葉は見事でしたが、私たちの周りでも木々が色づきはじめています。「山装う」とは言い得て妙ですね。

お知らせ

- ・ アメニティ・アカデミー 第Ⅱ期セミナー第2回 11月10日(土) 草志舎
- ・ ヴォーリズ六甲山荘一般公開最終日 11月18日(日)
- ・ ヴォーリズ六甲山荘大掃除&暖炉とワインを楽しむ会 11月23日(金・祝)
- ・ 町並み研究会アンコール企画 12月1日(土) 京都
- ・ 新年会 2013年1月13日(日) 草志舎
- ・ 歴史的建築物研究会 1月26日(土)

予告1**町並み研究会アンコール企画～京都・冷泉家と住友有芳園**

過去の町並み研究会のアンコールの希望をお尋ねしましたが、もっとも希望が多かった訪問先が今回の企画です。和歌を中心として京の文化の継承者である冷泉家と住友家の別邸として大正9年築の有芳園という豪華な内容です。

月日 2012年12月1日(土) 午前10時50分 冷泉家前集合

参加費 会員2,000円 定員25名(申込み先着順)

なおオプションとして同志社新島襄旧宅の見学も企画しました。

集合 午前9時50分 旧新島邸前 定員20名

これはアンコール企画ですので、希望者多数の場合は初めて参加の方を優先とさせていただきます。

詳しくは別紙あるいはホームページをごらんください。

ご報告1 アメニティ・アカデミー 第Ⅱ期セミナー第1回 10月13日(土) 草志舎

「読み解く心を育む」と題した第Ⅱ期セミナーの1回目は当協会理事の宮田満雄先生をお迎えして「私の受けてきた教育」というテーマでお話いただきました。ご自身の経験をとおして教育制度の変遷をわかりやすく解説され、制度に関係なく教育とは何かを語られました。お茶を飲みながらの懇談もふくめて実りあるひと時でした。



ご報告2 ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク全国大会 10月21日(日) 関西学院
 総会と懇親会は関学会館で開催され、アメニティ2000協会は席上で「ヴォーリズ建築再見」と題した連続講座の開催と「ヴォーリズ六甲山荘物語の発行」の2点をアピールしました。午後は見学会で関学ゆかりの神戸文学館、神戸大丸別館、居留地15番館、フロインドリーブ本店等を訪問しました。

予告2**<アメニティ・アカデミー>****セミナー「読み解く心を育む」開講しました**

アメニティ・アカデミーの第Ⅱ期のセミナーは当協会の理事、監事の方々を講師にお招きして、「読み解く心を育む」というテーマで、第一線で活躍しておられるそれぞれのお仕事から見える文化や社会の姿について、お話しを伺います。お話のあとは講師を囲んで懇談の時間ももうけます。得がたいこの機会にぜひご参加ください。

第2回 11月10日(土) 講師：畑儀文(理事、音楽家) 「童謡を創った人々」

第3回 12月8日(土) 講師：正司泰一郎(理事、元宝塚市長) 「美しいまちづくり」

第4回 2月9日(土) 講師：山田康子(監事、弁護士) 「結婚・離婚の境界から」

第5回 3月9日(土) 講師：島田恒(監事、経営学者) 「NPOが拓く社会」

受講料：1回 会員2,000円 一般2,500円

会場：草志舎 定員：30名(定員に達し次第締切ます)

【コラム】

母の書評「ヴォーリズ六甲山荘物語」

清水 彬久

物忘れが酷いと嘆く103歳の母に「ヴォーリズ六甲山荘物語」をプレゼントした。すると愛想よく「こんな立派な本ができたのかい。写真がたくさんあって観やすいのが良いがな！」とお褒めいただいた。「でもなあ、新聞の見出し位の字しか読めないのに、この字は小さくて私には読めんなあ、またゆっくりとみせてもらいます」と言って、ペラペラとめくって物入れにしまい込んでしまった。

ところがある日訪れるといつもの母と様子が違っていました。車椅子に座り本をジーと読んでいるのです。「来たよ！」と呼びかけると、振り向きもせず「今、大切な所なのよ」と言って、真剣そのものである。こんな一心不乱でかくしゃくとした母を見るのは久しぶりのことであった。どこかと覗くと、所有者甲南女子学園から購入するかしらないかをやりとりしていく決断を要した箇所である。数分間静かに控えていると、区切りがついたのか「結果が分かってもハラハラするがね」と興奮気味である。そして、「大変なことしたんやな、お金はどこの銀行からやったかね」・・・「?、違う違う、お金はみんなからの寄付と基金債で集めたんやで、お袋も基金債をもって来てたでしょう」・・・「そうやったかな!ところで昔はよう頑張ったけど、今はどうなっているんかい」・・・「去年山荘へアジサイの咲いてる時に行ったの覚えている」・・・「ああいったよ、きれいかったね」・・・「いまもみんなで大切に守っているよ」・・・「そうかね、そらあよかった、わたしは何もでけんけど、これからもたのんますよ!」・・・「はい、はい」・・・。

看護スタッフの方が私に、「屋上にお連れしますと、いつも六甲山を眺められて晴れているかを気にされておられますよ」と話してくださった。変らぬ母のヴォーリズ六甲山荘への深い想いに感謝。

ご報告3 町並み研究会 10月25日(木)～27日(土) 東北

すばらしい旅でした。石巻では木の屋の方のご案内で今だに地震と津波の傷あとが残る現地を視察し、その被害の規模の大きさを目の当たりにしたのは衝撃でした。3日間天気もよく山形、喜多方、会津若松の歴史的な建造物、3階建ての木造旅館の銀山温泉、わらぶき屋根の家並みの大内宿、磐梯吾妻スカイラインの見事な紅葉などを楽しみました。



ご報告4 こだわり工房ほりだし市 11月3日(土・祝) 草志舎

今年も皆さんからたくさん品の物が寄せられました。特に被災地からいろいろな種類の物産が届きました。また西宮市に避難しておられる被災者に案内をさしあげ、3組の家族が来てくださいました。買い物チケットをお渡しし、お昼ごはんも楽しんでいただきました。売上は20万円をこえました。すばらしいですね。出品してくださった皆さま、スタッフの皆さま、ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。



<東北より取り寄せ>鯨缶詰(石巻)、ぶどうジャム・ワイン・ジュース(陸前高田)、丸干し芋(茨城)、干し魚(茨城)、スルメ・塩ワカメ・すき昆布・仙台麩・いちじく甘露煮(仙台)

<お昼ごはんメニュー>黒豆枝豆ご飯、鮭のはちみつ焼き、長ネギいため、りんごと大根のサラダ、味噌紫蘇巻き(仙台産)、いちじく甘露煮(仙台産)、鯨(石巻産)と野菜の和え物、すまし汁(三陸ワカメ、もみじ麩、しめじ)

求む!

エデュケーション・センター(仮称)企画委員の募集

2013年度から新規事業として、若者(大学生、大学院生)を対象とするボランティア活動と学習を通じて環境問題を学ぶための教育機関であります「エデュケーション・センター」の創設を計画しています。

その背景には当協会が将来に亘って事業を拡充していくためには、その担い手となる会員の確保が重要となってきます。そのためには、環境教育の場を創ることで人材育成していくことが欠かせないと認識からです。

この組織の立ち上げからあたる企画委員を募集しています。アメニティ2000協会の、社会の次世代の担い手を育てる活動です。興味のある方はぜひご連絡ください。お待ちしております。

山下 津貴子

多くの人々の熱き思いによって編集、出版された事が いろいろの頁から伝わってくる“物語”でした。

最近では(特に新しく設計された)住宅の多くに見受けられる、無駄がなく、利便性の良い住み心地の空間が 実はこの時代にあって、住む人・訪れる人・付近の人・又設計/施行の関係者と 大勢の人々の心和むものであった事が良く表現されていて理解できます。

我々は 今になってようやくこころの豊かさを求めて、成熟しようと気付き始めた国家・国民ですが、その昔に一部の人達の間で繰り広げられていた事を知り先人の生きざまを我々世代が受け継ぎ、次の世代に上手に引き継ぐ為に微力ながらお手伝いをさせて頂くつもりです。

又第二、第三の出版物が出せるようこの事業が発展することを願っています。

◇◆◇おしゃべリアラカルト◇◆◇

アメニティ・アカデミー第二期「私の受けてきた教育」 に参加して

野村 眞千子

10月13日(土)の午後、朝夕秋らしくなったものの陽射しはきつく汗ばむ程でした。あの大好きな草志舎の門をくぐって入ってこられた宮田先生に、主人がお久しぶりですと頭を下げました。「あ!野村君」と先生。私の口はポカンでした。お久しぶりもお久しぶり、高校卒業以来ですから52年ぶりにお会いしましたのに、パッと名前を呼ばれたのです。教え子は何千人もおられるでしょうに。

先生は中学2年で旧制の教育制度から新制に変わるという経験をされました。そこで旧制の小学校(京城)についてお話下さいました。皇国教育以外の教育内容は新制に勝るもので、団体行動や礼節など人間としての基本的な生き方をしっかり育成されたとの事。それは今でも重要だと高く評価されました。

敗戦で引き揚げ、大分の城下町佐伯で入学した旧制中学の先生方は朴訥ながら魅力的な授業をされたそうで、後に、米国に留学された際、ゴールデンゲートブリッジを船でくぐった時、この建築工法を習ったと印象深く想起された程です。その後大阪に出てこられて高校は関学に入学されま

す。教育は学校、家庭、社会の三本柱から成りますが、クリスチャンホームで育てられた先生は理性を越えたところにある宗教及びその教育の重要性を関学でも体験され、ものごとの軽重を見極めるセンスを養うことが教育の基本目的と強調されました。

教師は種まきをするだけだと言われましたが、教え子がどのような生き方を選び取るか、深い関心をお持ちだからこそ教職につかれて2年目の教え子の就職先まで覚えて下さった。その先生の教えを受けた幸せに高揚した主人と帰路につきました。

そうそう、関学の歌「Old Kwansei」はプリンストン大学の「Old Nassau」の替え歌で、ウーマンリブが高まった時期に歌詞の Her sons の部分が変わったのに、関学はまだそのままだと云われたのが気になり、帰宅後パソコンで調べてみるとありました。2人で「Old Nassau」を聞きました。



コウノトリの郷を訪ねて

清水 順子

晴天の9月15日その名も「コウノトリ」という特急で豊岡に向いました。会員で長年コウノトリ育む農法でおいしいお米を作ってこられた啜さんのご自宅近くに実験圃場があり、そこで稲刈りをします。まわりの田んぼはすでに稲刈りを終わっていますが、ここだけ私たちのような押しかけ体験グループのために残して下さっているのです。

私は厨房で食事の準備でしたが、時折のぞくと、皆さん鎌を上手に使ってなんとかサマになっていました。けれど腰を曲げての作業はつらい。その点一番の働き手は小学生の男の子でした。彼はまだまだ稲刈りを続けたかったようで、昼休みになると「もうお終い?」と残念そうでした。

いつものようにスクモ釜(粃殻を燃料にする釜)で炊いたご飯をおにぎりにした楽しい昼食のあと、縁側から見ると、青い空にコウノトリが舞っています。豊岡に来始めた

ころには、コウノトリが飛んでいるのを見ると「あ、いたいた！」と大騒ぎしましたが、今では当たり前の景色です。こうなるには地域全体の長い努力があったし、これからも努力が必要なのだろうと考えながらも、人が行き交い作業をしているすぐそばに、優雅な鳥が飛んできてエサを探しているのを幸せな気分で眺めていました。



<神戸ワーキングホリデー2012の感想文>

「神戸ワーキングホリデーに参加して」

被災学生（高校3年生）

<7月30日（月）>

参加を決めてからこの日をとても楽しみにしていました。私は、自分からコミュニケーションをとるのが苦手なので、不安なところがありましたが、いざ参加してみると、前田先生をはじめ、実行委員の方々やボランティアの方々など本場に優しく、気さくに話しかけてくださったので、すぐに打ち解けることができました。

宝塚の鑑賞は、今まで見たことがなかったのでとても楽しみにしていました。演技だけでなく、踊りや歌まで迫力がすごく、最後まで夢中になってみていました。もう一度みたいくらい、今でもなお、あのキラキラした舞台が頭から離れません。そして夜のBBQや歓迎会は、今日初めて会ったとは思えないほど、たくさんの方と仲良くいろいろな話ができて、とても楽しい夜になりました。

最初は、不安と楽しみの二つの感情が入り混じっていましたが、このときはもう楽しみしかありませんでした。宿泊したヴォーリズ六甲山荘も、お部屋がまるで赤毛のアンにでてくるようなかわいらしいお部屋で、3泊4日をここで過ごせた事が、本当に嬉しかったです。

<7月31日（火）>

初めてのベンガラ塗りは、どんな事をするのか分らなかったのですが、きちんとできるか不安だったのですが、バディの奈津子ちゃんとお互いの学校の話などをしながら、手を休ませることなく、楽しく塗ることができました。夢中になっていたからか、終るのも早く感じたし、その後の石窯ピザもとてもおいしかったです。

午後からの散策は、自分が想像していたよりも歩いて、疲れたと思っていましたが、ガーデンテラスで食べた六甲山アイスで元気になりました。その後もオルゴール館では宝石のようなきらきらした音色がたくさん聞けて、とても感動しました。夜の川上盾さんによるゴスペルは、心にぐっとくるものがあり、今でも「までき」の歌を口ずさんでいます。

<8月1日（水）>

この日は神戸の暑さを身をもって感じた日でした。人と未来防災センターで見た、阪神淡路大震災の様子は怖くて……。一瞬ですべてが変わってしまっていて、何年もかけてつくりあげた町並みが跡形もなく崩れ落ちてしまっているのを見て、すごく寂しいキモチになりました。ですが私が訪れた神戸は復興していて、人がたくさんで活気があふれていました。私が震災にあって、一番恐れていた事は、「前に進むことは、過去を忘れてしまうことではないか」という事でした。頭では「一日も早い復興を」と願ってはいたのですが、なかなか一歩を踏み出せていませんでした。しかし、人と未来防災センターで、「復興は過去を忘れることではない。」と書いてあって、17年前もやはり誰もが不安になっていたのだと思いました。そして、それを乗り越えた人々がいると知り、神戸に住んでいる方々はなんて強い人なのだろうと、尊敬しました。自分にできることはすごく小さいものかもしれないけど、一歩を踏み出したいと思いました。

その後の自由散策はあまり時間はありませんでしたが、南京町でたくさんお土産を買えたりできたので、良かったです。夕食に食べた明石焼きやお好み焼きはとてもおいしくて、また食べたいです。ビンゴ大会も良かったです。

<8月2日（木）>

神戸に来て浴衣を来て野点ができて、とてもいい経験になりました。

あっという間に空港についてしまって、本当に3泊4日では足りないと思えるほど、神戸とそこに住んでいるみなさんを大好きになりました。

本当に楽しくて、皆さんが優しく面白くて、神戸がこんなにいいところだと知るのがこんなに遅くなって、申し訳ないと思ってしまうほど、大好きになりました。私達は、担任の先生に「人生はパズルだから、たくさんの経験という名のピースを集めなさい」と言われています。そして福島に帰って、神戸WHのことを担任の先生に話したところ、「あなたにとって、いい人生のピースになったね」と言っていただきました。震災にあって、つらいことはたくさんあったけど、それに負けないくらい、“出会い”に恵まれているなど感じました。皆さんで、また同じ時を過ごすのは不可能かもしれませんが、偶然にもまた皆さんと過ごせたらいいなと思ってしまいます。4日間で、こんなにも別れが寂しいとは思いませんでした。それも、今回出会えた皆さんの人柄のおかげだと思います。俳句はあまり詠んだことはないのですが……

六甲に 集いし夏は たからもの

本当に、ありがとうございました。

夏涼しい六甲山ですが、意外にも人出がおおいのは秋です。六甲山荘の来場者も多くなりました。さすがに朝夕は寒いと感じるようになり、電気ストーブの出番がふえてきました。今年の一般公開は11月18日までです。そのあと23日(金・祝)に大掃除と打ち上げをして、いよいよ冬ごもりです。

被災地の物産をお届けします

ほりだし市のために取り寄せた東北の物産をおいでになれなかった方にもお届けします。

鯨大和煮缶詰 (石巻・木の屋製)
葡萄ジャム (陸前高田・神田葡萄園製)

ご希望の方はご連絡ください。お送りします(送料がかかります)。あるいは活動にご参加のときにお手渡しすることも可能です。

詳しくは別紙あるいはメールでのご案内をご覧ください。

ヴォーリス六甲山荘の花~ヒイラギ

トゲトゲの葉の根元に咲く白い花です。顔を近づけるとキンモクセイに似たいい香りがします。クリスマスのリースによく使われますが、日本では古くから泥棒よけに庭に植えられることが多かったそうです。魔除けにも効果があるとか。節分にヒイラギにイワシを刺すという風習もありますね。



写真・岡本正美

益子を訪ねました

東北旅行の前に益子(栃木県)を訪問しました。9月に開催した益子焼展示即売会でご縁ができた益子参考館と館長の濱田友緒さんを訪ねたのです。参考館は修復が進んでいましたが、蔵の壁の大谷石が大きくひびわれているのはまだ手付かずでした。友緒さんは人間国宝濱田庄司のお孫さんで、ちょうど窯焚きの最中。登窯から黒煙と炎がたちのぼる勇壮な景色を見せていただきました。私たちのささやかな支援に対して「会員の皆さまに感謝しています」と言付かってきました。

益子は陶芸の町、毎年春と秋に陶芸市が開かれます。風格ある建物(有形登録文化財)に藍瓶がならぶ藍染めの店もあり、ゆっくり歩くと楽しい町です。一度お訪ねください。



登窯のそばで濱田友緒さんと→

東北旅行



銀山温泉・旅館前



山形・文翔館



磐梯吾妻スカイラインの紅葉



大内宿



喜多方・レンガの蔵



会津若松・さざえ堂